

平成30年度 第1回地域スポーツ指導者研修会 評価

担当：井上

1 趣 旨	スポーツに親しむ子ども達の健全な育成のために、指導者や保護者等に対して、ジュニア期の子どもにおけるメンタル面のサポートを行うための知識や方法、効果等について研修することにより、ジュニアスポーツにおける指導者の資質の向上を図る。
2 対象者	地域スポーツ関係者（指導者・保護者等）、各市町生涯スポーツ担当者、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ関係者 等
3 期 日	平成30年6月13日（水）
4 場 所	みやま市文化施設 まいピア高田（会議室3）
5 内 容	<p>【講 話】</p> <p>「将来アスリートを目指す小・中学生のメンタル面の指導法 ～日本相撲協会・陸上・柔剣道・野球選手の育成の経験を生かして～」</p> <p style="text-align: right;">古園井整骨院 院長 古園井 重敏 氏</p>

6 評 価

(1) アンケートから (参加者60名、アンケート回収43名)

		4	3	2	1	評価
総合評価	本日の研修会を総合的に評価してください。	27	16	0	0	3.6

講話について

- 中体連まであと少しなので、今日、教えていただいたことを明日から実践していきたい。否定的なことを言わず、認める発言をしていきたい。夏、県大会を目指します。(指導者)
- スポーツ指導者研修会でありましたが、家庭、社会生活の中でも通じることだと思いました。行動医学の活用があることが素晴らしい。今日は参加できてよかったです。(指導者)
- 観客を交えながら、和やかに楽しく受けさせていただきました。どうしても怒ってしまうので、「ほめてのばす」、「前向きな気持ちをつくる」ことを念頭において指導をしていきたいと思えます。(指導者)
- 事例を用いて説明していただいたので、非常にわかりやすかったです。自分に今までなかった新鮮で様々な知識を得ることができました。今後、指導する場でどんどん活用させていただきたいと思えます。(指導者)
- 保護者としてもっと子どもをほめようと思えます。子どもの力を信じようと思えました。(保護者)
- 保護者として子どもに簡単に伝えられる指導法をありがとうございました。先生の経験等を聞いて大変参考になりました。ほめる事の大切さを知る事ができました。(保護者)
- 先生の長年の研究や経験を根拠にお話ししていただき、大変参考になりました。やっぱり、選手、指導者、保護者が連携することが大切ですね。(保護者)
- 教えていただいたことは、とてもシンプルで、すぐにでも取り組めそうなことでした。また、言葉かけについてもプラス思考になるように働きかけることは大切だなと思いました。(指導者)
- ほめて伸ばそうと心にはあるんですが、やはり一生懸命になればなる程、きつい言葉をかけてしまっていました。今日の研修会に参加して、やはりほめる事が大事だと感じました。これから子どもに対して感謝し、認め、ほめていこうと思えます。(保護者)
- ちょっと難しかった。活用事例、実践方法を中心に聞きたかった。(指導者)

(2) 成果と課題

- 県が展開している「鍛ほめ福岡メソッド」の方針と今回の講話の内容が一致していたので、参加者に対し、県の取り組みの周知ができた。
- 今、指導者の資質が社会的に問題になっている中、今回の「子どもをほめて、信じて、やる気やパフォーマンスを向上させる」という趣旨の話は参加者にとって興味のある内容だった。
- 指導者はこれまでの自分の指導法を振り返る機会になっていた。(アンケート内容から)
- 講話の内容はスポーツ指導だけではなく、家庭教育、社会教育にも役に立つ内容であったようである。(アンケート)

ート記述内容から)

- 参加者募集がうまくいかず、研修会近くになってから電話等で参加者確保をすることになった。もっと計画的に参加者募集ができるように、中学校の部活の顧問等に効果的に案内する方法を検討していく必要がある。

(左) 古園井先生 (右) SMC 行動医学研究所 入江さん



←



古園井先生の甥 (現在 JR 九州柔道部指導者) 古園井新成 氏 ↑

新成氏は古園井先生が推奨される「子どもをほめて、信じて、やる気やパフォーマンスを向上させる」指導を受けて全国大会で活躍した経緯がある。新成氏は、現在、JR九州で柔道の指導をしながら、大学院に通い、スポーツ指導についての知識や技能を高めている。